

8月定例教育委員会 会議録

- 1 開催日 平成24年8月9日(木)
- 2 開催場所 教育委員室
- 3 出席した委員 神吉委員長、吉田委員、桃田委員、森委員、石堂教育長
- 4 出席した職員 野上教育総務部長、田淵教育指導部長、佐藤教育総務部次長、諏訪教育指導部次長、松尾教育指導部参事、小林教育総務課長、西田学務課長、奥野社会教育・スポーツ振興課長、仲田青少年育成課長、富原教育研究所長、中塚教育総務課副課長
- 5 傍聴者 なし
- 6 議事の要旨
 - 開会 午後3時30分
 - 会議録署名委員指名のこと
神吉委員長、吉田委員に決定
 - 7月定例教育委員会会議録報告承認のこと
(事務局より会議録朗読報告)
承認
 - 会議公開の可否決定のこと
協議事項2「教育委員会事務局職員の人事異動について」は非公開とし、他は公開することに決定

(協議事項)

1 「加古川市いじめ防止・対応マニュアル」の策定について

(教育指導部参事より説明)

原案可決

(委員)： まずは、「いじめ」はありうると認識することが一次予防となる。マニュアルの作成のみでいじめ対策ができたという訳ではない。

また、マニュアルが守れなくて起こったいじめに対して、どういう対策があるのかを検討することも必要。今後、マニュアルの中身を充実させる対策を考えていく必要がある。

(委員)： いじめが見つかったら、誰がどう対応するのかをまとめた具体的なフロー図のようなものが必要ではないか。

また、緊急対策会議の前段階として、いじめが疑われた際の対応方法等として、教員同士が小グループで考える体制等についても示す必要があるのではないか。

(事務局)： 各学校によって状況は異なるため、詳細なマニュアルを示すことは難しい。教育委員会が作成したマニュアルを参考に、各学校のマニュアルや対応方法を見直してもらいたいと考えている。

(委員)： 各学校にマニュアルが存在するのであれば、教育委員会からは対策についてのテーマを示すのみとし、具体的な内容については、それぞれの事情に即して学校が作成する方が、各学校の意識改革にもつながり有効ではないか。

(事務局)： 各学校に存在しているマニュアルは、生徒指導を含めた危機管理マニュアルであり、いじめ対応には特化していない。そのため、いじめ対応について最低限度必要な内容を、今回のマニュアルで各学校へ示し、学校での対応の参考にしてもらいたいと考えている。

(委員)： 今回のマニュアルは、各学校に対して一つの方向性を示すという意味ではよいと思う。

また、各学校にマニュアルを作成させる場合には、期限を定めて教育委員会が確認するようにしてもらいたい。

(事務局)： 全教職員を対象に8月23日に開催する教職員研修会でも、このマニュアルを基に教育委員会から説明を行い、改めて教職員一人一人の意識喚起を図りたい。

(委員)： いじめ対策としては、保護者同士のつながりが有効なこともある。保護者会の回数を増やすことや、保護者からの情報提供を促す等の試みも大切ではないか。

(事務局)： 保護者に対して、そのような対応ができるようマニュアルで示すようにする。

(委員)： よいマニュアルができて、教員に子どもを見る感性やゆとりがなければいじめを発見することはできない。

(委員)： 今回のマニュアルの策定に関しては、現場で頑張っただけで対応している教員の士気を下げないように、学校の意見を聞きながら作成していく方法を選択した。この機会を捉えて、今後とも教員の意識改革を図っていきたい。

2 教育委員会事務局職員の人事異動について

(議事を非公開とする)

◎ 次期定例教育委員会予定日のこと

9月13日(木) 午後4時～ 教育委員室で開催することに決定

○ 教育委員諸報告

[神吉委員長より]

(1) 要望書の提出について

7月23日(月)に、文部科学省及び衆参両院の文教委員に対して、全国の教育長及び教育委員長からの要望をとりまとめて提出した。

(2) 全国教育委員会連合会事務局長会議について

7月26日(木)に三重県松阪市で行われ、各県の教育行政の特色についての報告などがあった。

(3) 兵庫県自殺対策連絡協議会について

7月30日(月)に神戸市のラッセホールで行われ、「教師がゲートキーパーの役割を果たせるように、研修等で『いじめ・虐待・自殺』を感じとる目を養ってほしい」と述べた。

(4) 播磨東地区教育委員会連合会研修会について

7月31日(火)に加東市で行われ、吉田委員及び石堂教育長と参加した。

(委員)： 加東市出身で広島にて被爆した元高校教師による、戦争体験についての講演があった。戦争体験者の高齢化に伴い話を聞ける機会が減少しているが、子どもにとっても、歴史の勉強とあわせて戦争体験者の話を聞く機会を与えることが大事なのではないかと感じた。

○ 教育長諸報告

(1) 第4回加古川市議会(臨時会)について

8月10日(金)に第4回市議会(臨時会)が予定されている。

(2) 加古川市議会の体制について

8月1日(水)、2日(木)に行われた第3回市議会(臨時会)にて、正副議長など役員の改選があった。

○ 教育総務部長諸報告

(1) 大気汚染等健康影響調査の実施について

加古川地域における大気汚染の状況と小学生の健康状態との関連を疫学的に評価することを目的に、平成20年度から引き続き調査しており、今年度が最終年度となる。9月に全小学校の5年生及び市内8小学校の全児童の約6,500名を対象に実施する。

(2) 幼児教育士等 職員採用第1次試験の実施状況について

筆記試験を7月22日(日)に、集団面接を8月4日(土)及び5日(日)に実施した。今後、1次試験の合格発表は8月17日(金)、2次試験を9月1日(土)に実施する予定である。

(3) 市内中学生にかかる事案について

加古川市と播磨町の小中学校で昨年12月から今年1月にかけて窓ガラスが割られる被害が相次いだ事件で、加古川市、播磨町、明石市の当時14歳から18歳の少年、少女18人が逮捕または書類送検された。

(4) 市内小中学校における事案について

7月に、氷丘中学校で校舎の窓ガラスが割られる等の事案が2件、氷丘小学校では受水槽タンクへの落書き、また、加古川中学校では校門付近から打ち上げ花火が学校敷地内へ打ち込まれる事案があった。

8月には陵南中学校でテントが燃やされる等の被害があった。

相次いで被害のあった氷丘中学校には、暗視カメラを3台設置して防止に努めている。

以上、4件について報告。

○ 教育指導部長諸報告

(1) 中学生の全国大会出場について

中学校部活動の全国大会が、関東地方で開催される。現時点では、9校から3競技で約30名の出場が決定している。

(2) 加古川市教職員研修会の開催について

8月23日(木)に約1,500名の本市教職員を対象に、加古川市民会館大ホールで開催する。いじめへの対応についても教育委員会から注意喚起を行う。

(3) 平成25年度使用義務教育諸学校教科用図書の採択について

小学校では平成23年度と同一の教科書を、中学校では平成24年度と同一の教科書を採択する。

(4) 「子どもの不登校を考えるつどい」の開催について

8月10日(金)に、加古川市民会館小ホールで開催する。

(5) 人権フォーラム ―いのち輝くまち加古川― の開催について

8月19日(日)に、加古川市民会館中ホールで開催される。

(6) 「第33回 はぐくみの旅」について

8月24日(金)に、障がい児及び保護者が社会体験を通して、相互交流を図ることを目的に実施される。

- (7) 「第22回 加古川市中学生海外派遣事業」について
8月7日(火)～8月18日(土)に、姉妹都市であるニュージーランドのオークランド市に、市内の中学生が11名派遣されている。
- (8) 学校園訪問の日程調整について
学校園訪問(後期)を、9月28日(金)から実施する。

以上、8件について報告。

○ 閉 会 午後4時42分